

# 令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立菅原小	学校	児童数	108
---------	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.73	18.40	30.36	37.79	50.33	9.56	148.29	22.28	51.20
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.63	17.26	38.73	36.33	39.09	9.88	140.30	13.86	53.12
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

### 結果の概要

男子も女子も「シャトルラン」「ソフトボール投げ」は全国平均を大きく上回り、持久力や巧緻性などが優れている。一方で、「反復横跳び」「立ち幅跳び」などが低く、敏捷性や瞬発力に課題がある。体力合計点では、男女ともに大阪市平均は上回っているものの、全国平均以下である。

また、「運動やスポーツをすることは好きですか?」に対する肯定的な回答の割合は、女子が大阪市平均を少し上回っているものの、男女ともに全国平均以下である。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合も、男女ともに大阪市や全国平均を下回っている。

ただ、うまくできるようになったり、自分に合うスポーツが見つかったり、誘われたりしたらやりたいと考えている子も多い。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「みんな遊び」や体感を鍛える運動に取り組んできた。また、寒くなり体を動かすのが嫌になる時期に「なわとび週間」や「かけあし週間」を行うなど、体を動かす機会を増やすように取り組んできた。

以前から課題としてあがっている「反復横跳び」と「長座体前屈」については、年2回記録を取り、伸び率を調査している。結果は、ほとんどの学級で1学期よりも2学期の方が伸びており、学校平均で反復横跳びが2.9回、長座体前屈が2.0cm増えた。

しかしながら、今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から、大阪市や全国の平均と比べると、あまり運動やスポーツが好きではなく、実際に体を動かす時間も少なく、特に「素早さ」に課題があることが分かった。

まずは、苦手だと感じている子たちが、みんなと一緒に運動することの楽しさを味わえる体育授業を行うとともに、敏捷性や瞬発力を高める運動にも工夫しながら取り組んでいきたい。